

世界規模の問題でも“自分ごと”として!!

日差しが暖かく、秋らしいさわやかな朝が続きます。月曜日の全校集会では、はじめに賞状伝達が行われました。先週までの大阪市立中学校総合文化祭の展示部門において、家庭科部の作品と1年生の社会科の発表が評価されたのです。よく頑張ってくれました。おめでとうございます。来年度もぜひとも頑張ってもらいたいと思います。その後、学校長の講話と続き、最後に生徒会より先週の募金活動についての報告とお礼の言葉がありました。

学校長の話より

コロナ禍の影響で最近はいくらも暗いニュースが多いですが、世界的

な明るいニュースを1つ紹介します。「核兵器禁止条約」が発効する運びとなったというニュースです。同条約は2017年7月に国際連合加盟の6割を超える122カ国・地域の賛成多



《国際連合本部》

数で採択されました。史上初めて核兵器を全面禁止する内容で、核兵器の開発や保有、使用だけでなく、核抑止力の根幹である威嚇も禁止しています。ただし、発効には50か国の批准が必要でした。今回、ホンジュラスが新たに批准したことを受けて、ようやく来年1月22日に発効できることになったのです。この3年間、条約の推進に尽力してきた人々の苦労は大変なものだったと思います。しかし忘れてはならないのは、アメリカやロシア等の核保有国や世界で唯一の被爆国である日本は不参加で、実効性の確保が課題になっているということです。反対している国々にもそれぞれに理由があるはずです。そこもしっかり把握していかなければなりません。

今年、長崎の原爆資料館に次のような言葉が掲げられたそうです。「核兵器、環境問題、新型コロナウイルス……世界規模の問題に立ち向かう時に必要なこと、その根っこは同じだと思います。自分が当事者だと自覚すること。人を思いやること。結末を想像すること。そして行動に移すこと。」

私たちが大切にしなければならないことは、世界規模で起きている事象を“自分ごと”と捉え「自分に何ができるのか」ということを考えていかなければならないということです。決して“他人ごと”として関係ないとしてしまっはいけないのです。

眼科検診・歯科検診

新型コロナ対策で延期されていた眼科検診と歯

科検診が今週再開されました。例年とは違う検診風景ですが、校医先生と調整しながら無事に行うことができました。今後治療が必要な人は早めに受診し、健康な体を取り戻しましょう。

学校元気UP放課後学習会

11月の元気UP勉強会



は次の通りです。○ 11/4(水) 5(木) 11(水) 12(木) 18(水) 19(木)
○ 3時30分～5時まで 図書室もしくはその他の教室(学習する教材は各自持参のこと。)

読書週間始まる

10/27(火)から11/9(月)までは

読書週間となっています。校内には「ラストページまで駆け抜けて」というポスターが張られていますが、一晩で一気に読み終えてしまうほど夢中になる本もありますね。夢中になる本、自分の人生の支えとなる本、その後の生き方に大きく影響を与えた本に出会えますように。



【校長のおすすめ】

今回紹介するのは“レイチェル・カーソン”の著作「沈黙の春」。1962年発表の同著は、自然破壊について訴えたもので、その後の世界に大きな影響を与えました。タイトルの「沈黙の春」とは、農薬等の化学物質のせいで生物が死に、春なのに鳥の鳴き声が聞こえず、自然は沈黙してしまったことを表しています。実際の出来事にもとづいた著者のこの告発は、多くの人々の目を環境問題に向けさせ、環境保護運動の始まりとなりました。

著者は「『知る』ことは『感じる』ことの半分も重要ではないのです。」という名言を残していますが、この本を読んでいると、環境保護を訴えてきた著者の自然を愛する気持と共に、本で読んで自然を知るよりも、実際に触れて自分の目や耳や鼻、手を使って自然を感じる大切さを伝えたいという思いがひしひしと伝わってきます。ぜひとも一読を。

茶道部のお茶会が盛会!!

火曜日、放課後に茶道部がお茶会を催し、教職員を招待してくれました。3年生部員が茶室で、1・2年生部員は家庭科調理室



にてお茶を点ててくれました。とても上手で、おいしかったです。茶室の方では毎回茶道を指導してくださっている先生も来てくださり、お茶の作法等についてお話を伺うことができました。落ち着いた優雅な時間をありがとうございました。